

**令和3年度
教育委員会点検・評価報告書**

～令和2年度活動実績～

令和4年1月

四万十市教育委員会

点検及び評価の概要

平成20年4月1日に施行された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正において、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について、点検・評価を行うことが義務付けられました。

この教育委員会の点検・評価については、教育委員会の効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていくため、教育委員会自らが、①毎年、②教育長及び事務局の事務執行を含む教育委員会の事務の管理執行の状況について、③教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図りつつ、点検・評価を行うこととし、④その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないとされました。

この法律に基づき、令和2年度の教育委員会活動の取組み実績について、自己点検・評価を行うこととし、また、評価内容の客観性を確保するため、教育に関する学識経験者のご意見を頂き、「令和3年度教育委員会点検・評価報告書(令和2年度実績)」としてまとめ、公表することとしました。

四万十市教育委員会では、これまでに学校教育の充実、教育改革の定着と推進、生涯学習の充実と推進、青少年の健全育成、人権教育の推進、芸術・文化・スポーツの振興などに取り組んできました。

この度の教育委員会の点検・評価制度の実施により、教育委員会自らが事後にその成果や課題を再確認することで、今後の施策改善に反映させるとともに、目指すべき方向について、より具体的で効果的な教育行政の推進を図ることとしています。

令和4年1月

四 万 十 市 教 育 委 員 会

令和3年度（令和2年度対象） 四万十市教育委員会 評価シート

1 自己点検・評価

大項目	中項目	小項目	取り組みの概要	評価
1 教育委員会の活動	(1)教育委員会の会議	①開催状況	・定例会を会議規則で定めたとおり毎月1回開催、臨時会を3回開催した。	4
		②運営上の工夫	・議案、資料を事前に配布し、情報交換を行えるよう努めた。 ・教育委員会前後等の時間を利用し、協議や報告事項の確認を行った。	4
	(2)教育委員会と事務局との連携		・適宜、協議を行うなど情報交換、意見交換を行った。より一層の連携を図るために資料収集、情報交換に努めた。	4
	(3)教育委員の自己研鑽		・県教委並びに幡多地教連主催の合同研修会等に積極的に参加し、当市の教育行政に反映できるよう自己研鑽に努めた。	3
	(4)支援・条件整備	① 学校訪問・支援	・6月から10月にかけて25校（小学校14校、中学校11校）の学校を訪問し、学校の状況把握並びに意見交換を行った。	4
		② 所管施設訪問・支援	・小中学校の卒業式、運動会に出席し、祝辞等を行った。 ・各委員が必要に応じて所管施設等の訪問を行い意見交換を行った。	3
		③ 広報・情報公開	・市広報に市教委だより等を、市ホームページに学校再編の取組みや教育振興基本計画の本文及び進捗状況確認結果を掲載し、市教委の取組み状況等を周知した。	4
2 教育委員会が管理・執行する事務	(1)教育行政の基本的な方針に関すること		・令和2年度教育行政方針を策定した。 ・第2期教育振興基本計画の進捗状況確認を行った。	4
	(2)教育委員会規則等の制定又は改廃に関すること		<制定> なし <一部改正> ・四万十市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則 ・四万十市スポーツ賞表彰規程 ・四万十市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則 ・四万十市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則施行細則 ・四万十市公民館運営規則 ・四万十市立安並運動公園体育施設の管理運営規則 ・四万十市立学校の通学区域に関する規則 ・四万十市立小学校及び中学校スクールバスの運行及び管理に関する規程 ・四万十市立学校文書管理規程 ・四万十市教育委員会職員の職名に関する規則 ・四万十市教育委員会事務執行基本規程 <廃止> なし	4

大項目	中項目	小項目	取り組みの概要	評価
2 教育委員会が管理・執行する事務		(3) 学校その他の教育機関の設置及び廃止等に関すること	<令和3年3月31日付休校> ・川登小学校 ・大川筋中学校 ・蕨岡中学校	4
		(4) 職員の任免その他の人事に関すること	・事務局各所属における適切な任命等による人事配置が行われた。 ・旧非常勤特別職員について、令和2年度をもって会計年度任用職員制度に移行し、必要な職種の職員について任用を行った。	4
		(5) 議会の議決を経るべき議案の原案決定に関すること	<教育予算の見積もり決定> ・教育委員会事務局各課の予算についての確認を行った。 <条例改正> ・四万十市都市公園条例の一部を改正する条例 ・四万十市重要文化的景観保護審議会設置条例	4
		(6) その他教育委員会が管理・執行する事務	・令和2年度(令和元年度活動実績)教育委員会点検・評価報告書の策定	3

大項目	中項目	小項目	取り組みの概要	評価
<p style="text-align: center;">3 管理・執行を教育長に委任する事務</p>	<p style="text-align: center;">(1) 学校教育に関すること</p>	<p style="text-align: center;">①学校再編の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年3月25日付で「四万十市立小・中学校再編計画（第2次）」を策定した。このことを受けて組織された「四万十市立中学校再編準備委員会」の議決事項報告をもとに、教育委員会としての学校再編に関する諸課題の対応方針を定め、この方針に基づいて、再編合意校区の保護者等とスクールバス運行に係る時刻表の作成や乗降場所の位置等について必要な協議を行った。 ・再編未合意校区については、引き続き学校再編に係る不安や疑問解消のため意見交換会開催・保護者アンケート等を実施し、学校再編への理解を求める取り組みを継続した。 	4
		<p style="text-align: center;">②基礎学力の定着と学力の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高知県教育版地域アクションプラン等を活用し、市内の小中学校を四万十市の教育改善に向け「四万十市一校一役教育研究」として研究推進校の指定をし、学校長のリーダーシップによる授業改善に向けた取り組みや特色ある教育活動の推進と学力向上など学校の主体的、自立的な取り組みを支援し、学校力・授業力の向上を図った。 「全国学力・学習状況調査」、「高知県学力定着状況調査」、「標準学力調査」を実施し、教科担当者会及び教育研究所・研究主事において分析した結果をもとに授業改善を行い、基礎学力の定着と学力向上に努めた。 ・各校において、帯タイムの活用や家庭学習の定着への取組を周知した。また、積極的に読書活動も推進した。 ・小学校3年生に国語辞典、中学校1年生に英和・和英辞典を一人一冊配布し、活用することにより基礎学力の定着を図った。 ・外国語指導助手（ALT）7名体制（中村地域6名（R2.9月からコロナ禍のため実配置4名）、西土佐地域1名）で、小・中学校に派遣を行い英語教育の充実に努めた。 ・中学生の英語検定受験料を補助し、受験機会の拡大を図り、生徒の英語力及び学習意欲の向上に努めた。 ・放課後学習支援員を配置（中村地域7校）し、基礎学力の定着に努めた。 ・学校図書館支援員を配置（7校）し、学校図書館の充実及び読書活動を推進した。 ・西部教育事務所と連携をとり、支援派遣を行うことで、校内研究の充実及び支援に努めた。 ・国が示す「GIGAスクール構想」の実現に向けて、市内各校に高速大容量の通信ネットワークを整備し、これに接続する児童生徒一人一台相当の端末を整備した。 	4

大項目	中項目	小項目	取り組みの概要	評価
		③生徒指導上の問題への対応	<p><不登校対策></p> <ul style="list-style-type: none"> いじめ・不登校等生徒指導上の課題に対応するためスクールソーシャルワーカーを4名配置して、児童生徒、保護者の相談支援、校内体制の支援に努めた。 不登校児指導員4名体制で、学校と連携して不登校児の家庭での学習や教育支援センター（ふれあい学級）での学習の支援に努めた。 教育研究所を拠点に、教育相談を実施するためのアウトリーチ型スクールカウンセラーを配置した。 <p><いじめ防止対策></p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度に採択された「高知家」やさしさいっぱい子ども宣言のポスターを各校に配付するとともに、学級単位でいじめ防止のめあてを策定した。 いじめを題材にした「いのちのおはなし」の絵本の作者本人による読み聞かせ（児童）及び講演（生徒）を実施した。 児童生徒支援員を配置（4校）し、不登校傾向の児童生徒や、居心地の良い学級づくりのサポートを行った。 <p><少年補導センター業務></p> <ul style="list-style-type: none"> 有害環境の浄化の推進や青少年の問題行動の未然防止を図るため、補導教員及び補導相談員による登下校時の通学路や商業施設の巡回を行った。例年補導協力員とともに実施している祭事における合同補導は、コロナ禍による祭事中止に伴い不実施。 <p>～その他「事務報告書」参照～</p>	3
		④特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育学校コーディネーターの研修を年間2回実施し、コーディネーターを育成し、各学校の特別支援教育の理解と充実を図っている。特に、環境整備と配慮が必要な児童生徒への支援に力を入れた。 特別支援学級に入級している児童生徒が複数いる学校を中心に特別支援教育支援員（11校）を配置し、配慮が必要な児童生徒に支援を行った。 県が主催する巡回相談やサポート事業の積極的活用を進め、児童相談所や福祉事務所などの関係機関と連携するなど、支援会や教育相談の充実に努めた。 <p>～その他「事務報告書」参照～</p>	4

大項目	中項目	小項目	取り組みの概要	評価
3 管理・執行を教育長に委任する事務	(1) 学校教育に関すること	⑤学校安全の推進と充実	<p><環境整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中村西中学校校舎増築大規模改造 (令和2・3年度事業) ・スクールミールひがしやま改修 ・小学校空調設備整備 (中央公民館から利岡小学校へ) ・蕨岡小学校簡易水道接続 ・竹屋敷小中学校転落防止柵設置 <p><学校安全></p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路安全プログラムに基づき、通学路上の危険箇所8箇所について、関係機関による合同点検を行った。また、前年以前の危険箇所を含め、4箇所について対策を実施した。 ・スクールガードリーダー5名を配置し、児童生徒の登下校の安全確保に努めた。 ・小学校新1年生全員に防犯ブザーや黄色い交通安全傘等の防犯・交通安全グッズを配布し、防犯・交通安全等について啓発を行った。 <p>～その他「事務報告書」参照～</p>	4
		⑥学校給食の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校完全給食継続 (平成28年4月から中村地域中学校給食開始による) ・食材価格の高騰による食材購入費の不足に対応し、適正な学校給食を提供するため、平成29年4月より学校給食費を改定(引き上げ)した。 ・学校給食センター(スクールミールひがしやま・なかむらみなみ・ぐどう・にしとさ)調理及び配送業務については専門性の高い民間業者へ外部委託(契約期間H31.4.1～R4.3.31) ・給食食材の地産地消の推進 <p>～その他「事務報告書」参照～</p>	4
		⑦その他学校教育に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ・各種教育研究大会の開催 ・教育研究所及び教育支援センターの空調設備整備 ・高知県山の学習支援事業(6校) ・中学校体育大会出場補助(4校) ・学校支援地域本部事業(15本部) ・長期宿泊体験活動推進事業(新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から中止) ・西土佐分校への支援 <p>～その他「事務報告書」参照～</p>	3

大項目	中項目	小項目	取り組みの概要	評価
3 管理・執行を教育長に委任する事務	(2) 生涯学習に関すること	①芸術文化の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・第39回市民大学の開催（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止） ・高知大学出前公開講座in四万十市（9/30、10/8、10/16） ・第16回文化祭の開催（8/9～12/15） ・第62回美術展の開催（11/20～24） ・シルバー教室の開催 8講座 ・中国語講座の実施（6月～2月毎週月曜日） ・四万十川国際音楽祭2020の開催（7月～3月） ・ふれあいホール自主事業の実施（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止） ・子ども読書活動の推進 ・ブックスタートの実施 ・図書館利用率の引き上げ ・郷土博物館企画展開催 5回 <p style="text-align: center;">～その他「事務報告書」参照～</p>	4
		②青少年健全育成	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年健全育成四万十市民会議への支援 ・青少年育成西土佐会議への支援 ・家庭教育支援基盤形成事業の実施（新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止） ・第16回四万十市成人式の開催（中村地域延期（R3. 5. 4実施）、西土佐地域中止） <p style="text-align: center;">～その他「事務報告書」参照～</p>	3
		③社会教育関係団体及び施設の管理と運営	<ul style="list-style-type: none"> ・四万十市連合婦人会活動への支援 ・西土佐体育協会への支援 ・四万十市人権教育研究協議会への支援 ・分館活動への支援（12分館） ・婦人・高齢者学級委託事業 6学級開催 ・四万十楽舎生涯学習委託事業 ・人権啓発事業の実施 12分館地区別学習会 人権フェスティバル ・西土佐ふれあいホールの管理運営 ・指定管理者（文化センター、玉姫さくら館他）の運営継続 ・指定管理者（図書館）による運営継続 ・社会教育施設の管理運営 <p style="text-align: center;">～その他「事務報告書」参照～</p>	4
		④文化財の保護活用	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財試掘調査・遺物整理 ・四万十川の文化的景観保全 くろそん手帖活用 黒尊川生態調査 ・文化財保護・指定・管理 ・小・中学校出前事業の実施 	4
		⑤社会体育施設の管理と運営	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者（安並運動公園体育施設等）の運営継続 利用人数 137,043人 ・市民スポーツセンターアリーナ床他改修工事 ・移動式バスケットゴール購入（1基）他 <p style="text-align: center;">～その他「事務報告書」参照～</p>	4

大項目	中項目	小項目	取り組みの概要	評価
		⑥社会体育活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員（21人）の研修の実施（高知市他2回） ・いきいきクラブの開催（6～3月）25回 495人 ・スポーツ教室の開催（テニス教室20回 140人・スポレクチャレンジフェスタ2回 40人 ・第16回市民総合体育祭（9/1～11/22）23団体 1,351人 ・岡本友章氏世界野球ソフトボール連盟殿堂入り記念事業（記念祝賀会 11/21ソフトボール関係者約140人出席） ・第16回市スポーツ賞の表彰 優秀賞：個人20、団体5 ※表彰式 3/7 ・学校開放事業 27施設 14,559人 ・第30回西土佐駅伝大会 7チーム 47人 <p>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第26回四万十川ウルトラマラソン ・四万十川リバーサイドフルウォーク ・新体力テスト ・市民ハイキング ・第52回読売中村ロードレース ・第28回四万十カップ少年サッカー大会 ・日本体育大学スポーツ等連携事業 ・第55回分館対抗バレー大会 ・スカッシュバレー大会 ・第8回西土佐運動会 <p>～その他「事務報告書」参照～</p>	4
		⑦その他生涯学習に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育推進講座 4回延べ76名 ・人権教育研究大会（新型コロナウイルス感染防止のため中止） ・男女共同参画社会推進講座 37回延べ247人 ・社会教育委員会・公民館運営審議会 4回 ・文化財保護審議会 1回 ・四万十市スポーツ推進委員会 2回 中村・西土佐部会 8回 ・図書館協議会 2回 ・博物館運営協議会 2回 ・子ども読書活動推進委員会 1回 ・西土佐ふれあいホール運営委員会 2回 <p>～その他「事務報告書」参照～</p>	3

《評価の目安》

評価ポイント	評価の目安
4	達成しているといえるもの
3	概ね達成しているといえるもの
2	あまり達成しているとはいえないもの
1	達成しているといえないもの

2 自己点検・評価に対する意見（学識経験者の知見）

評価者名	大林 郁 男
<p>令和3年度教育委員会の自己点検・評価については概ね妥当なものと判断します。</p> <p>令和2年度の取り組みについては新型コロナウイルス感染症拡大の影響があり、企画していたイベントや取り組みが思うようにできず、またその安全確保に学校現場もかなりの労力を必要とし、学校運営に相当苦勞したものと推察します。</p> <p>また、そのような厳しい状況の中で前回より自己評価点を向上させた項目もあり、大いに評価したいと思います。</p> <p>(1)学校教育に関すること</p> <p>大項目[3. 管理執行を教育長に委任する事務]の中項目[(1)学校教育に関すること]のうち、[①学校再編の推進]については、前回の自己評価は3へと下がっていたのですが、今回は自己評価4に向上しています。その内容を見ると市立中学校再編準備委員会の議決事項を元に教育委員会としての諸課題の対応方針を定め、保護者等とスクールバス運行の細部の協議を進めたとあります。一定成果の出た学校再編合意学校の細部事項を教育委員会自ら取り組んでいることが分かり自己評価のアップも妥当と判断します。再編未合意校についても継続した取り組みを期待します。</p> <p>[②基礎学力の定着と学力の向上]については、国の示す『GIGA スクール構想』の実現にむけて、高速大容量の通信ネットワークの各校への整備と児童生徒への端末配置がされたとのこと。今後は、教育委員会と学校現場が連携しこのようなインフラ整備がより実効あるものとなるような取り組みを期待します。</p> <p>[③生徒指導上の問題への対応]は前回の減点評価のままとなっていますが、いじめを題材とした本の読み聞かせや講演会の開催が実績としてありました。いじめのない学校づくりに向け今後一層の奮起に期待します。また不登校児対策についても今後その取り組みを強化されるよう希望します。</p> <p>(2)生涯学習に関すること</p> <p>生涯学習に関することについては、現場には中央公民館建替の影響も出ていると思いますが、それなりに地道に取り組みが継続されており自己評価点は妥当と考えます。</p> <p>新型コロナウイルスの影響は大きく、まだまだ油断できない状況が続くと思います。教育委員会の各種取り組みについてその影響が出る事態もあろうかと思いますが、創意工夫によりその活動を充実されるよう要望します。</p>	

評価者名	阿 部 統 洋
<p>令和3年度（令和2年度活動実績）教育委員会の自己点検、評価について概ね妥当であると判断します。</p> <p>○学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること</p> <p>令和2年度末で休校となった3校の記載がありますが、特に川登地区においては、川登小、大川筋中の小中両校同時期の休校となっており、その影響も大きいものと考えられることから休校後の各施設の利活用について、地域の皆さんとの継続した協議の場が必要となります。また数十年に一度といわれる洪水で施設の一部に浸水被害の出た時もあり、安全対策面も十分に考慮した上で利用制限の緩和等、可能な限りの取り組みをしてほしいと思います。</p> <p>○学校再編の推進について</p> <p>昨年度自己評価では、未合意校区との協議が解決していない理由で評価を4から3に下げていましたが、本年度は合意校区での通学に関する必要事項の協議実施や未合意校区での保護者の意向調査や意見交換会を継続して実施し、再編へ理解を求める取り組みを続けていることな</p>	

どから、この項目の評価ポイント4への上方修正は妥当なものと考えます。また、学校再編に関する取り組みの中で新たに小グループに分かれて意見交換する方式に変更したとあります。大人数の会合では発言する機会や時間にも制限があり、多種多様な意見を聞くことが難しい状況になりがちですが、少人数のグループにすることで参加者それぞれの生の声を直接聞くことが期待出来、今後意見交換等の会合では主流となる実施方式なのかもしれません。

○基礎学力の定着と学力の向上について

国の「GIGAスクール構想」実現に向けた一人一台端末と校内ネットワーク整備がコロナ禍拡大を受けて当初の計画を3年前倒しして実施され、事業費は端末と校内通信整備合計で1億7千9百万円余りで、単純に換算すると端末1台あたり6万6千円くらいかかっています。社会では今後更にテレワーク等の仕事の形態が増えていくものと思われ、これからの時代を生きる子供の教育環境整備がまた一つ前進した事業だと高く評価出来ます。また、授業の中ではネットの便利さとその裏に潜む危険を、一人一人が端末を使うことで同時に学習していけるものと期待されます。

○その他について

学校教育、社会教育共に新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止せざるを得ない行事が数多く発生する事態となり教育委員会をはじめ、学校現場の混乱は容易に想像出来ます。教育現場の安全確保は何よりも優先されるべきことですから難しい判断をせまられる事が多い時はありますが、現状分析から適宜最適解を求めてほしいと思います。

